

# 名古屋三河道路

の早期実現に向けた

## 要望書



令和3年2月4日

# 要 望 書

記

本県は、自動車産業を始めとした世界に誇る産業の集積地であり、製造品出荷額等は約49兆円と42年連続日本一となるなど、「産業首都」として日本経済を牽引しております。

また、東京・名古屋間で建設工事が進められているリニア中央新幹線の開業は、本県と首都圏の時間距離を大幅に短縮させ、さらに大阪までの全線開通により、三大都市圏が一体となった「リニア大交流圏」が誕生することとなります。そのセンターに位置する本県は、自動車産業等の基幹産業分野における生産性の向上に加え、次世代産業の振興、交流圏拡大に向けた戦略的広域連携、観光の推進など、多様な産業分野において力を発揮し、世界中から人・モノ・カネ・情報が集まる中京大都市圏の中核としての役割を担っていく必要があります。

地域高規格道路名古屋三河道路が貫く知多及び西三河地域は、本県の製造品出荷額等の約7割を稼ぎ出す、「モノづくりあいち」を牽引する地域であり、現在も新たな企業の立地が進む活力ある地域であります。一方で、地域内の生産拠点から名古屋港、中部国際空港へのアクセス道路となる国道23号名豊道路や国道1号などでは、渋滞が頻繁に発生し、当地域の強みであるモノづくりの生産性に大きな影響を及ぼしております。

本道路は、こうした交通課題に対応し、名古屋港等へのアクセス性を高めるほか、新東名、東名高速道路や名豊道路、知多半島道路、西知多道路などと一体となって都市圏内の交通円滑化を図り、さらにはリニアインパクトを広く波及させる道路であります。また、伊勢湾岸自動車道とのダブルネットワーク機能も担うなど、国土強靱化に資する極めて重要な道路であるとともに、名古屋環状2号線や東海環状自動車道の全線開通後における名古屋都市圏の更なる交通軸として、本県の発展に大いに寄与する道路であり、早期実現が必要です。

このため本県としても、国土交通省中部地方整備局において実施していただいている「名古屋都市圏環状機能強化の検討」の調査と連携し、個別路線としての検討をしっかりと進めるとともに、関係機関が一丸となって計画の具体化に向けて取り組んでまいります。

つきましては、以上の事情をご賢察賜り、次の項目についてご支援いただきますよう、特段のご配慮をお願い致します。

1. 経済活動のV字回復と、物流・観光等の経済活動復興のための施策を推進すること。
2. 災害に屈しない強靱な道路ネットワークを構築するため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を強力に推進すること。
3. 名古屋港をはじめとした効率的な物流確保に向け、名古屋都市圏環状機能強化の検討を進めるとともに、平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、名古屋港から岡崎市内の新東名高速道路に至る名古屋三河道路を重要物流道路へ指定した上で、早期実現を図ること。
4. 特に、知多地域と国道23号名豊道路を結ぶ区間については、名豊道路（知立バイパス）や境川・衣浦湾周辺等における交通課題へ対応する区間となることから、優先的に取り組むこと。

令和3年2月4日

愛知県知事 大村 秀章  
名古屋商工会議所会頭 山本 亜土  
一般社団法人中部経済連合会会長 水野 明久

